



# ふれあい

## 放水路

2004  
(平成16年)  
第119号  
2月



### 出雲大社で節分祭

二月三日の「節分の日」、各地で節分祭が行われました。出雲大社でも恒例の豆まきが行われ、境内には朝早くから多くの参拝者が詰めかけました。

「福はうち、鬼はそと」のかけ声とともに豆まきが始まると、本殿前は豆を拾い集める人たちでこった返し、歓声が沸き起こっていました。拾った豆は各々が自宅へ持ち帰り、皆で食べて「まめ」息災を願います。

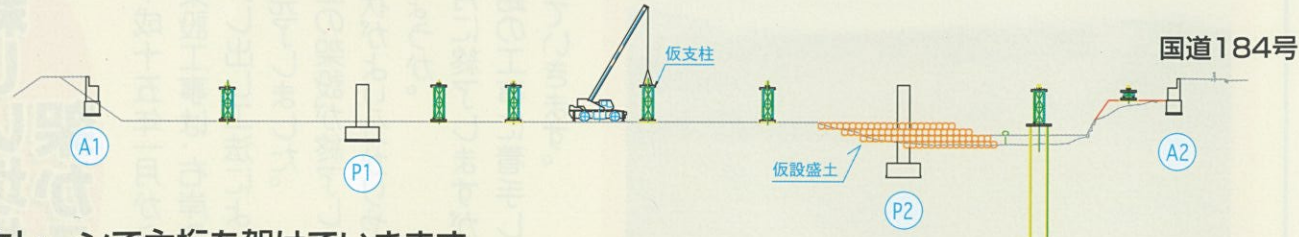
また、地元では自分の家から用意してきた家族全員の年の数の豆を入れた紙包みを、銅鳥居をくぐると同時に背越しに投げ上げ、後ろを振り向かずに本殿へと進み除災招福を祈る習わしもあるそうです。

境内では他にも福豆の配布や厄除け神事などが行われ、ご利益に授かるうとする参拝者が後を絶たず、出雲大社の節分祭は終日賑わっていました。

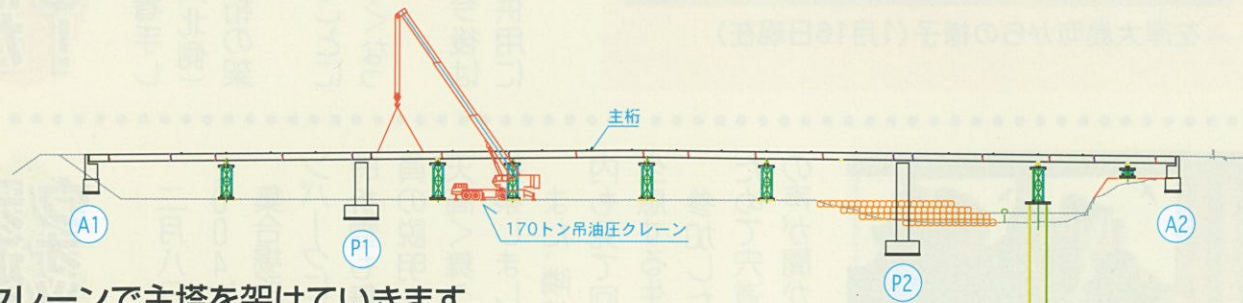
# 馬木吊橋の架設工法について

## 工事の流れ

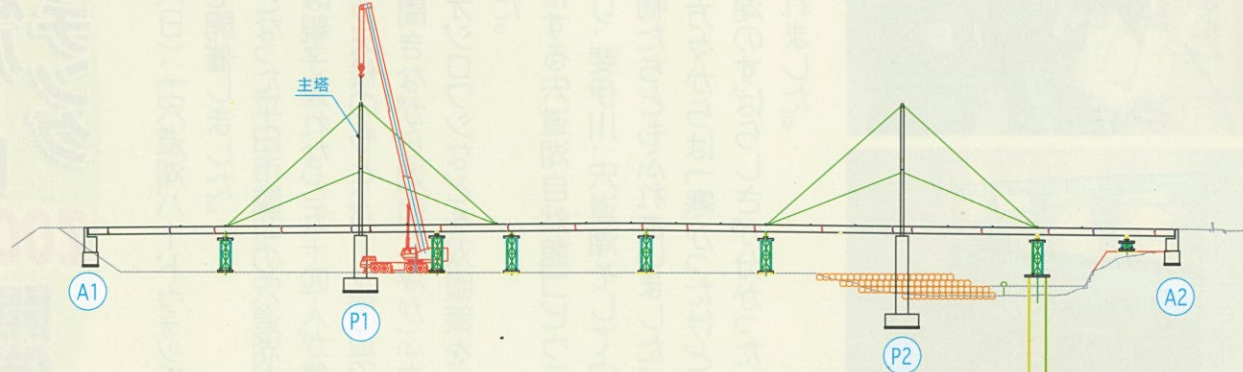
① クレーンで主桁を支える仮支柱を設置していきます。



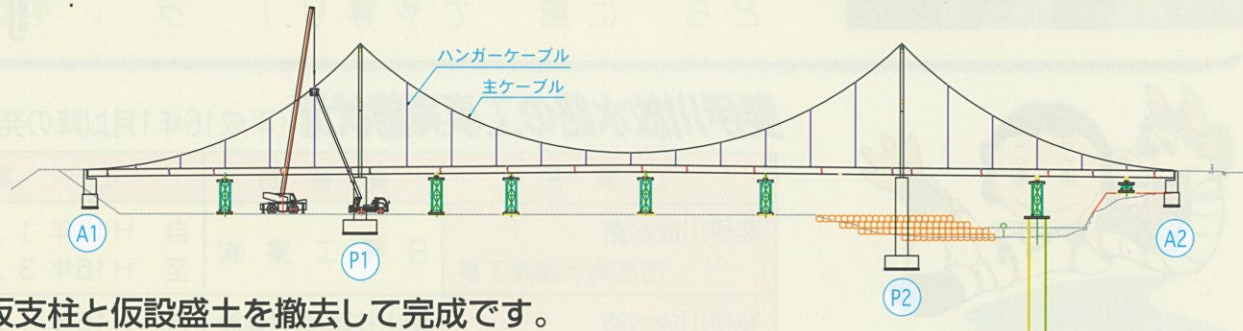
② クレーンで主桁を架けていきます。



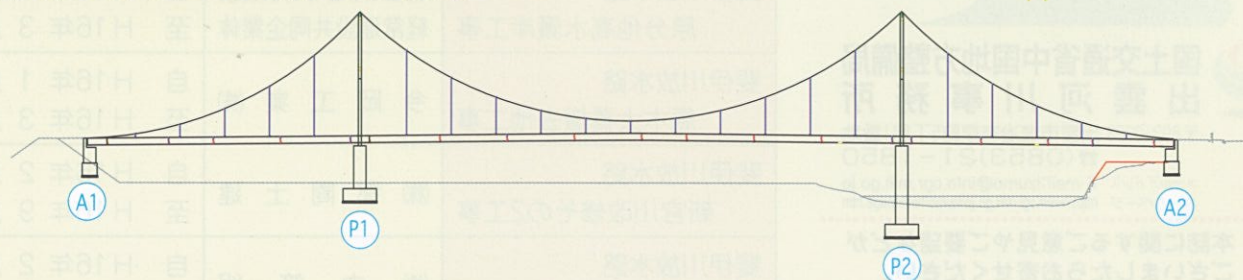
③ クレーンで主塔を架けていきます。



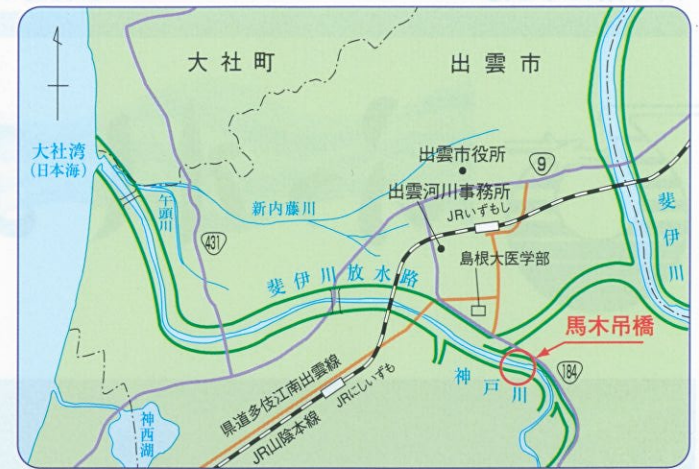
④ クレーンで※主ケーブル、ハンガーケーブルを架けていきます。(※本紙第104号参照)



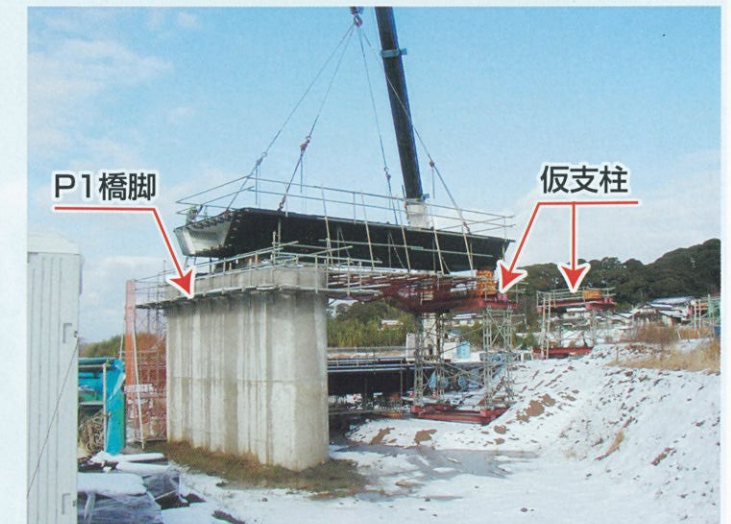
⑤ 仮支柱と仮設盛土を撤去して完成です。



新しい馬木吊橋は、橋台・橋脚の施工が平成15年3月、橋桁の工場製作が平成15年11月に完了し、現在、現場架設を行っています。  
 今月は、馬木吊橋の架設工法について紹介します。



**【工場での仮組立】**  
 主桁全長(175m)の半分の長さ(87.5m)を工場を組み立てた状況



**【主桁の架設】**  
 170トン吊の油圧クレーンで架設(左図②参照)

## 現在の工事の進捗状況です



【馬木吊橋全景】



左岸上流より望む

平成16年1月末現在、主桁・主塔の架設を完了し、2月にケーブルを架設し、3月の完成を目指して工事施工中です。

※写真:1月末撮影

ふれあい  
放水路  
通信

新しい境橋が  
架かる!



▲左岸大島町からの様子(1月16日現在)

平成十五年一月から着手した新しい境橋の架設工事は、右岸側(北側)から左岸側への押し出し工法による桁の架設が今年の二月に完了しました。  
橋梁部は上部工の架設が終了したことにより、橋の完成形状がより分かりやすくなつたのではないのでしょうか。  
上部工事は三月に終了しますが、今後は左右岸の取付道路の工事に着手し、供用に向けて工事を進めていきます。

平成十五年一月から着手した新しい境橋の架設工事は、右岸側(北側)から左岸側への押し出し工法による桁の架設が今年の二月に完了しました。

宍道湖バード  
ウォッチング  
2004 開催!

二月八日(日)、「宍道湖バードウォッチング2004」を開催しました。

集合場所となった平田市園町の宍道湖グリーンパークには親子連れなど五十四人が集まり、時折雪も舞う天候のもと、パーク周辺で指導員の説明を聞きながら湖面に浮かぶカモや天高く舞うオシロワシなどを双眼鏡を使って観察しました。

また、隣接する宍道湖自然館「ピュウスの館」内も見て回り、斐伊川、宍道湖そして中海に生息する生物たちともふれあいました。

参加した方々からは「寒かったけど、あらためて宍道湖のすばらしさが分かった」などの声が聞かれました。



斐伊川放水路の工事实施状況 (平成16年1月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 古志高水護岸工事	日 発 工 業 (株)	自 H16年 1 月 9 日 至 H16年 3 月30日
斐伊川放水路 原分他高水護岸工事	朝山技建・浜村建設 経常建設共同企業体	自 H16年 1 月10日 至 H16年 3 月30日
斐伊川放水路 馬木大橋撤去他工事	今 岡 工 業 (株)	自 H16年 1 月10日 至 H16年 3 月25日
斐伊川放水路 新宮川改修その2工事	(株) 都 岡 土 建	自 H16年 2 月11日 至 H16年 9 月30日
斐伊川放水路 長浜他掘削工事	(株) 中 筋 組	自 H16年 2 月14日 至 H16年12月24日



国土交通省中国地方整備局  
出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp  
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/homepage.htm

本誌に関するご意見やご要望などが  
ございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当  
放水路工事室 事業対策官